

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.

21117

1. 開設大学	広島大学 工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	東広島キャンパス
2. 科目名	乗り物と輸送の科学		
	学問分野	番号	31 名称 工学
3. 担当教員	北村 充 工学研究院 他 9 名		
4. 開講学期	後期 週 1 ヲマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 28 年 10 月 5 日 (水) ~ 平成 29 年 2 月 1 日 (水) ※10 月 12 日 (水) を除く 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分		
個別開講日	1 回目 10/5	2 回目 10/19	3 回目 10/26
	4 回目 11/2	5 回目 11/9	6 回目 11/16
	7 回目 11/30	8 回目 12/7	9 回目 12/14
	10 回目 12/21	11 回目 1/11	12 回目 1/18
	13 回目 1/25	14 回目 2/1	15 回目 /
	16 回目 /		
6. 募集定員	10 人 (総授業定員 160 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	自然環境に対して調和・共生可能な自動車・船舶・航空機等の輸送機器 (Vehicle) を計画・製作・建設・維持するための工学、およびそれらの周りの環境について解説します。紙等による構造物 (Vehicle の部分構造) の設計・製作を通して、もの作りにおいて考慮すべきこと、楽しさ、困難さを体験します。 授業内容・計画として以下の 1~14 を予定。() の名前は担当教員を示す。 1. ガイダンス (北村) 2. 大空を飛ぶ輸送機器 (岩下) 3. 大海を進む輸送機器 (安川) 4. 壊れない輸送機器の構造設計と模型製作 1ーチャレンジ (北村) 5. 壊れない輸送機器の構造設計と模型製作 2ー解説 (北村) 6. 壊れない輸送機器の構造設計と模型製作 3ーリベンジ (北村) 7. 輸送機器のシステムとその設計 (濱田) 8. 輸送機器の形状を探る、流線型だとなぜ速い? (陸田) 9. 輸送機器は壊れないか? その強さを調べる (北村) 10. 輸送機器をより軽く、より安全にするために (竹澤) 11. 輸送機器を自由自在に操るために (新宅) 12. 輸送機器を利用して空から環境を計る技術ーリモートセンシング (作野) 13. 未知なる海を調べる輸送機器 (田中) 14. 総括 (北村)		
8. 受講料	2,000 円		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) 別途負担費用なし。資料などは必要に応じて配布します。		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		○受け入れない
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・○ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7 月 15 日 (金) 以前の開講科目は 3 月末まで / 7 月 16 日 (土) 以降の開講科目は 6 月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと なし		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ →広島大学→交通アクセス→東広島キャンパス 広島大学工学部 http://www.hiroshima-u.ac.jp/eng/		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。